



札幌交響楽団 1961 創立

首席指揮者 マティアス・バーメルト

名誉音楽監督 尾高忠明

名誉指揮者 ラドミル・エリシュカ

友情客演指揮者 広上淳一

公式ホームページ <http://www.sso.or.jp>

ヴァイオリン奏者 募集

<予備審査>	一次:録音審査	2019年 5月12日(日)	応募締め切り
	二次:実演審査	2019年 7月 1日(月)	実施
<最終審査>	実演審査	2019年 7月 2日(火)	実施

1. 募集楽員

ヴァイオリン奏者 (tutti) 1名

* 年齢は原則として35歳までとします。

2. 録音審査 (一次審査)

・次に指定する課題を、記載の順でトラックナンバーをつけてCD-Rに録音し送付してください。

[課題曲]

(1) 次の協奏曲のうち1曲の第1楽章 (カデンツァ含) ※ピアノ伴奏付
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第3番、第4番、第5番

(2) 次の協奏曲のうち1曲の第1楽章 ※ピアノ伴奏付
パガニーニ/第1番ニ長調 op. 6、メンデルスゾーン/ホ短調 op. 64、ラロ/スペイン交響曲 op. 21、ベートーヴェン/ニ長調 op. 61、ブラームス/ニ長調 op. 77、サン＝サーンス/第3番 op. 61、ブルッフ/第1番ト短調 op. 26、チャイコフスキー/ニ長調 op. 35、シベリウス/ニ短調 op. 47、バルトーク/第2番、プロコフィエフ/第2番ト短調 op. 63

[オーケストラ・スタディ]

(3) ベートーヴェン/交響曲第9番 第2楽章 [2ndViolin]

・冒頭～**B**の最初の音まで

(4) R. シュトラウス/交響詩「ドンファン」 [1stViolin]

・冒頭～**C**の13小節目まで

<録音における留意事項>

- ・半年以内に収録したものとします。
- ・(1) と (2) についてはピアノ伴奏付とし、前奏は任意にカットしてください。
- ・曲の始まりと、カデンツァがある場合はカデンツァの始まりにトラックナンバーをつけてください。
- ・録音用媒体はCD-R (音楽用) に限ります。
- ・音量の低さ、過度なエコーなどは審査に支障をきたす場合がございます。必ず録音状態をオーディオ機器で再生しご自身で確認してからお送りください。

●応募方法

次の必要書類と審査用録音物を6.に記載の送付先まで郵送してください。

録音物には名前を明記してください。

応募書類や録音物は返却いたしません。

必要書類

履歴書（市販のもの、音楽歴も記載のこと）

録音資料（A4用紙に(1)と(2)から選択した課題曲名、収録日、収録場所を記載してください）

●応募締め切り

2019年 5月12日（日）必着

●録音審査結果

2019年 5月27日（月）までに文書で通知いたします。

3. 実演審査（二次審査ならびに最終審査）

●日時・会場

二次審査（セクションによる実演審査）

2019年 7月 1日（月） 13時開始予定

札幌エルプラザ・3Fホール（札幌市北区北8条西3丁目）

最終審査（全楽団員による実演審査）

2019年 7月 2日（火） 午後予定

~~札幌エルプラザ・3Fホール（札幌市北区北8条西3丁目）~~

→【変更】札幌芸術の森アートホール・アリーナ（札幌市南区芸術の森2丁目）

●実演審査曲目

(1) モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第3番、第4番、第5番のうち、一次審査で選択した曲と同じ1曲の第1楽章（カデンツァ含）

(2) オーケストラ・スタディ（詳細は一次審査通過者にご連絡いたします。）

※伴奏者は、当団で手配いたします。伴奏者の同伴も可能です（その場合の経費は受験者負担）。伴奏あわせは、審査当日午前を予定しております。詳細は別途ご案内いたします。

※最終審査受験者には、審査当日にあわせて面接を行います。

4. 待遇（現行給与表による基本給、基本給＝年齢給＋経験給）

給与 191,600円(22歳)～247,400円(35歳)

賞与 年2回（当団規定による）

住宅、扶養、燃料、通勤、楽器消耗品各手当、社会保険、雇用保険、退職金制度有

5. 採用時期

即採用（応相談）

ただし、6ヶ月の試用期間を設けます。

6. お問い合わせ及び送付先

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-15（札幌コンサートホール内）

公益財団法人 札幌交響楽団 オーディション係

TEL:011-520-1771 FAX:011-520-1772

http://www.sso.or.jp e-mail:info@sso.or.jp

